

事業所名	グループホーム 楽々園
日付	平成18年11月28日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	① 介護支援専門員・介護福祉士 ② 訪問介護員2級
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業者のコメントを見る (評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります) ※	

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
・このグループホームは、山間の静かな場所に位置し、周りには田園や公民館、神社等があり気軽に散歩が楽しめる落ち着いた環境にあります。 ・家庭的な環境のもとで、地域とのつながりを重視し、そのひとらしさの生活を大切にするように努力されています。 ・地域等の行事に積極的に参加をするように努力をされています。
特に改善の余地があると思われる点
・平成17年12月オープン以来、職員の移動が多く、協働体制に不十分なところが見受けられました。認知症の方の理解や介護技術、コミュニケーションの勉強や研修を十分にされることを提案致しました。

I 運営理念			
番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		○
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
・地域社会とつながりのある、暖かい家庭的雰囲気作りを目指しています。 ・利用者の生活が継続できるように、常に利用者の立場に立ったサービスの提供や適切な個別援助を目指しています。			

II 生活空間づくり			
番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周や空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
・広い空間を利用して、みんなで歌を歌ったり、おしゃべりができるように、十分なコミュニケーションが図れるような取り組みをはじめています。 ・落ち着いた生活が送れる様な努力をしています。			

III ケアサービス			
番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録		○
8	確実な申し送り・情報伝達		○
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重		○
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援		○

III ケアサービス(つづき)			
番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援		○
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持		○
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援		○
記述項目	一人の力と経験の尊重やプライバシー保護の為取り組んでいるものは何か。		
・入居者一人ひとりの力量にあわせた支援がされています。 ・そのひとらしさを大切にしたプライバシーの保護に努めています。			

IV 運営体制			
番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		○
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
・一人ひとりの生活の質の向上・現状維持に向けた支援に努めています。ケアの質の向上に向け、全職員が研修会へ積極的に参加すると共に、自己研鑽への一層の努力を期待します。			